

海洋を舞台とした脱温暖化プロジェクト「横浜ブルーカーボン」がスタート！

～ ヨコハマの海を脱温暖化でリノベーション～

ワカメの地産地消でCO₂削減！ 横浜シーサイドトライアスロン大会でカーボンオフセット！

環境未来都市・横浜市は、臨海部を対象として、環境・エネルギーを切り口とした施策展開や産業振興に取り組んでいます。

この取組の一環として、平成 23 年度から海洋資源を活用した温暖化対策の検討を進めてきましたが、このたび、横浜市独自のカーボンオフセットを中心とした新たな脱温暖化プロジェクト「**横浜ブルーカーボン**」をスタートすることになりました。

プロジェクトの第一歩として実施する社会実験では、横浜市漁業協同組合と株式会社横浜八景島の「ワカメの地産地消」等によるCO₂削減効果を活用し、横浜シーサイドトライアスロン大会の開催で排出されたCO₂のオフセットを行います。このプロジェクトは、臨海部の脱温暖化を進めるとともに、環境保全や環境啓発に関する活動と連動し、沿岸環境の魅力を向上させていくことで「親しみやすい海づくり」にも取り組んでいきます。

1 「横浜ブルーカーボン」の概要

「ブルーカーボン」と「ブルーリソース」を一体として脱温暖化に取り組むとともに、海辺環境の魅力向上により「親しみやすい海づくり」を目指しています。

【ブルーカーボン】

・「海洋に生息する生き物によって吸収・補足される炭素」をいいます。2009 年の国連環境計画（UNEP）の報告書で命名されました。

Yokohama Blue Carbon

【親しみやすい海づくり】

- ・ブルーカーボンやブルーリソースに寄与する藻場の保全やワカメの養殖などにより、水質が浄化され、生物が成育する環境が保全されます。
- ・本プロジェクトでは、環境啓発や環境保全に関する活動を経済的に支援する仕組みづくりを目指していきます。

【ブルーリソース】

・臨海部におけるエネルギーの有効利用や海産物の食用利用など、「海洋におけるエネルギー等の利活用」として横浜市が命名したものです。

2 社会実験の概要

横浜シーサイドトライアスロン大会実行委員会

CO₂
3.13 t

カーボンオフセット
クレジット代として

34,560 円(3.2t-CO₂)の支払
10,800 円/t-CO₂(税込)

28,080 円

横浜市漁業協同組合

残ったクレジット
13.6 t-CO₂分

〔 漁協 11.1 t-CO₂ 〕
〔 八景島 2.5 t-CO₂ 〕

繰り越して活用

大会出場者によるオフセット 17,250 円

横浜市

- クレジットの創出（CO₂削減）及び購入（カーボンオフセット）を認証し、クレジット売買の収支を管理・公表します。
- クレジット代がさらなるCO₂削減や環境保全等の活動に活用されるよう支援を行います。

6,480 円

株式会社横浜八景島

「横浜ブルーカーボン」
スタートを記念して

カーボンオフセット証書授与式を行います！

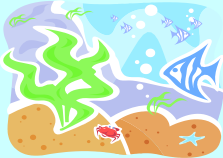
～ 第 3 回「国際ブルーカーボン・シンポジウム in 横浜」にて～
日時) 平成 27 年 1 月 20 日 (火) 13 時 30 分～17 時 30 分
場所) 横浜情報文化センター 7 階 情文ホール (横浜市中区日本大通 11 番地)

裏面に続きます

3 CO₂削減・排出の内訳

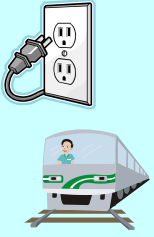

横浜市独自方式！

CO₂削減

- **ワカメの地産地消 15.9 t-CO₂**
25年度に実施された「横浜市漁業協同組合によるワカメの養殖」(13.7 t-CO₂)と「(株)横浜八景島による環境啓発イベント(ワカメの植付・収穫)」(2.2 t-CO₂)を対象としています。
ワカメを市外から搬入せずに地産地消することによる「CO₂の削減貢献量」を算定しました。

- **海水ヒートポンプの導入 0.9 t-CO₂**
「(株)横浜八景島が導入した海水ヒートポンプ」を対象とします。一般的にヒートポンプの熱源として大気や地中熱が利用されますが、年間を通じて温度が安定している海水を利用することで、より効率的に空調を管理できます。
横浜八景島シーパラダイスにおける海水ヒートポンプ導入による省エネ効果を算定しました。

CO₂排出のオフセット

横浜シーサイドトライアスロン大会

- **大会の運営 1.5 t-CO₂**
大会運営におけるエネルギー利用や、スタッフが電車等により自宅から会場まで往復移動したことによるCO₂排出量を算定しました。

- **大会出場者の移動 1.6 t-CO₂**
大会出場者が電車等により自宅から会場まで往復移動したことによるCO₂排出量を算定しました。


昨年度実績からの試算により、大会出場者1人あたり30円の寄附(オフセットへの賛同)を出場申込の際に募ったところ、

出場者の64.9%から賛同が得られました。



4 シーサイドトライアスロン大会当日の様子

【日本あん摩マッサージ指圧師会】

- 大会当日のイベントブースにおけるマッサージ代 **24,500 円** を本社会実験に全額寄附するとの申し出がありました。
- 寄附金は、カーボンオフセットと同様、横浜市漁業協同組合・株式会社横浜八景島によるCO₂削減や環境保全等の活動に活用していただけます。

【横浜ブルーカーボンPRブース】

- 横浜市漁業協同組合から地元産ワカメの提供などの御協力をいただき、試食会を行いました。
- 試食された方を対象に実施したアンケートでは、ワカメ地産地消の推進に多数の御賛同をいただきました。



日本あん摩マッサージ指圧師会、横浜市漁業協同組合の皆さま、ご協力いただきましてありがとうございました！



5 今後の展開

次は **世界トライアスロンシリーズ横浜大会** でチャレンジします！

- **来年は、世界トライアスロンシリーズ横浜大会(2015年5/16~17)でカーボンオフセットで社会実験を行います！**
- 同大会は、都心部で行われることから、会場の自然環境が優れている事をアピールできる絶好の機会。多くの市民・企業・団体の方々にクレジットの創出・購入にご参画いただくことで、沿岸環境における温暖化対策や環境保全などの活動を推進していきます。
- 藻場の保全など、CO₂削減効果がある活動をカーボンオフセットの対象としていきます。
- カーボンオフセット以外にも、環境の保全活動への支援スキームも検討していきます！



お問合せ先

温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課長	吉田 雅彦	TEL 671-2636	(横浜ブルーカーボン)
(公財)横浜市体育協会 トライアスロン推進部長	金子 忠彦	TEL 680-5538	(トライアスロン大会)
市民局 スポーツ振興課長	飯田 能弘	TEL 671-3237	